

令和2年 主な業種別死亡災害発生状況

新潟労働局

製造業

| 発生月 | 発生状況 | 事故の型 | 起因物 |
|-----|----------|------|-----|
| | < 発生なし > | | |

建設業

| 発生月 | 発生状況 | 事故の型 | 起因物 |
|-------|--|-------|--------|
| 1 3月 | 寺の屋根に上がって屋根板金を補修する作業中、3.8m下の地面に墜落した。【50歳代・男性】 | 墜落・転落 | 屋根・はり等 |
| 2 4月 | 降雨で水かさが増した調整池(水深約1.5メートル)の排水作業中、底部の排水管に吸い込まれておぼれた。【50歳代・男性】 | おぼれ | 水 |
| 3 5月 | 土砂を積んだダンプトラックを運転して、ストックヤードへ向けて走行中、運転操作を誤り、道路路肩の法面(勾配約30度)から約3m下の道路に転落した。【40歳代・男性】 | 交通事故 | トラック |
| 4 7月 | ごみ焼却施設の装置更新作業で、機械装置(高さ1.3m、長さ1.8m、幅1.0m、重量約1.6t)をチェーンブロックで運搬し、2台の台車(長さ0.75m、幅0.5m)の上に降ろしたところ、突然横向きに倒れ下敷きとなった。【40歳代・女性】 | 倒壊・崩壊 | 機械装置 |
| 5 9月 | 外壁材の張替を行っていた際に高さ約3メートルの脚立足場上から墜落した。【50歳代・男性】 | 墜落・転落 | 足場 |
| 6 10月 | 重機搬入路の敷鉄板の段差を調整する作業でバックホウとバールを併用して動かそうとしていた際、敷鉄板からバックホウのバケットの爪が外れてバケットがバールに接触し、その反動で被災者の胸部に当たった。【60歳代・男性】 | 飛来・落下 | 掘削用機械 |
| 7 11月 | ずい道拡幅補修工事において、車両系建設機械(ブレーカー)を運転してずい道内部の掘削中、掘削面で落盤等が発生し、被災者を直撃したものと推定される。【60歳代・男性】 | 崩壊・倒壊 | 地山・岩石 |

その他(製造・建設以外)

| 発生月 | 発生状況 | 事故の型 | 起因物 |
|------|--|------------|---------|
| 1 2月 | トラックのキャビンの雪下ろしをしていたところ、足を滑らせ、高さ2.7メートルの位置から墜落し、頭部を打ちつけたもの。【30歳代・男性】 | 墜落・転落 | トラック |
| 2 5月 | 舗装工事現場で側帯に停車していた車中で意識不明の状態の作業員2名を同僚が発見、搬送先の病院で2名とも死亡が確認された。作業員は舗装工事の夜間巡視作業に従事しており、車内で待機していた。また、車内後部にはバッテリーを装備しており、救急隊が救出する際に車内から硫化水素が検出された。【30歳代・女性 / 70歳代・男性】 | 有害物との接触 | 有害物 |
| 3 6月 | 廃材処理業者に段ボールを積み下ろす作業で、被災者はトラックのあおりを固定する部品が破損したため補修していたところ、別の作業員がフォークリフトを後退させるつもりだったが誤って前進させてしまい、フォークリフトの前方で作業していた被災者が、フォークリフトとトラックの間にはさまれた。【60歳代・男性】 | はさまれ・巻き込まれ | フォークリフト |
| 4 6月 | 新聞を配達するため、自転車を停めて徒歩で県道を横断していた際、走行してきた自動車にはねられた。【70歳代・女性】 | 交通事故 | 自動車 |
| 5 8月 | 片側交互通行規制された道路工事現場において、交通監視業務を行っていた被災者が走行してきた軽トラックにひかれた。【60歳代・女性】 | 交通事故 | 自動車 |
| 6 9月 | 事業場敷地内に停車していたトラックが突然逸走したため、被災者は逸走したトラックの前方に向かって駆け寄った際、当該トラックとその前方にあるコンクリート壁との間に挟まれた。【50歳代・男性】 | はさまれ・巻き込まれ | トラック |